

2018年(平成30年)10月5日 金曜日

神 戸 新 聞

60歳以上の野球チーム三田プリンス(長尾研司代表、45人)が、3日まで静岡県で開かれた全日本還暦軟式野球選手権大会で3位に入った。「還暦野球の甲子園」に当たる最高峰の大会に、3度目の出場で過去最高の成績を残した。

大会は都道府県の代表64チームが出場し、9月29日に開幕。台風24号の接近による雨の中の1回戦は最終回の七回表、相手の失策と四球などで4点差をひっくり返し、逆転勝利した。これで波に乗って2、3回戦を突破。準々決勝ではエースの川畑重幸さん(63)=篠山市=が相手打線を完封し、準決勝に進んだ。

社会人野球経験者を集めたチームなど強豪がひしめく神奈川の代表、横浜港南クラブを相手に善戦したが、3

「次は日本一目指したい」

ー6で敗退。3位決定戦は行われず、静岡大井川クラブ(静岡)と2チームが3位となった。川畑さんは5試合、計561球を投げ抜いた。打っては久積和保さん(67)=神戸市北区=が18打数8安打、6打点と活躍した。

三田プリンスは1998年、三田軟式野球協会の所属チームなどでプレーしていた人を集めて誕生。同選手権での最高成績は2年前のベスト8だった。発足から20年での好成績に、長尾代表(80)=三田市志手原=は「試合会場からは日本一の富士山が間近に見えた。次は還暦野球の日本一を目指したい」と話していた。(高見雄樹)

全日本還暦野球3位

三田プリンス 過去最高の成績



決勝進出を懸けた一戦を前にした三田プリンスの選手たち=3日、静岡県沼津市(三田プリンス提供)